



第¹¹²号

2013 / 4

交通系 IC カード全国相互利用サービス開始で、
出来ること・できない事

2013年3月23日、JRをはじめとする全国10種類の IC カードが相互に利用できるようになった。つまり岡山でICOCA(JR 西日本)を利用している人が関東のPASMO エリア(東京メトロや東急など)で利用できたり、福岡でnimoca(西鉄)を利用している人が岡山・広島や関西のICOCA エリア(JR 西日本)で利用できるという事である。全国のおもな鉄道やバスがどれか1枚の IC カードを『IC』マークのバスや自動改札機などで利用できるようになった。この全国相互利用サービスで利用できるカードは



- Kitaca(JR 北海道)
- PASMO(関東地区おもな民鉄)
- Suica(JR 東日本・東京モノレール・東京臨海高速鉄道など)
- manaca(名古屋鉄道・名古屋市交通局・豊橋鉄道)
- TOICA(JR 東海)
- PiTaPa(関西地区おもな民鉄)
- ICOCA(JR 西日本・JR 四国)
- はやかけん(福岡市交通局)
- nimoca(西日本鉄道)
- SUGOCA(JR 九州)

岡山ではこれまであった磁気式のバスカードに変わり『Hareca』が誕生した。利用できる会社は岡電バス・岡電(路面電車)・下電バス・中鉄バス(53号線)・両備バスであったが、3月12日より宇野バスでもHarecaの利用が出来るようになった。なお岡電・下電・中鉄(53号線)・両備ではICOCAの利用も可能だが、宇野バスではICOCAの利用は出来ないのので気をつけていただきたい。

今回の全国相互利用サービスで10種類のカードはエリアを問わず利用できるようになったが、岡山の”Hareca”・広島の”PASPY”・香川の”Iruca”・愛媛の”IC い〜カード”・高知の”ですか”など、地域独自のカードは現状のままである。

